

## 音楽Ⅱ

### 1. 学習の到達目標

- (1) 生徒の能力、興味・関心等に応じた学習活動の充実を図り、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を
- (2) 音楽の諸活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情を育てる。
- (3) 様々な音楽に触れ、楽曲の文化的・歴史的背景などを踏まえた広い視野をもて、音楽文化への理解を深め

### 2. 使用教科書 高校音楽Ⅱ Music View (教育出版)

### 3. 指導計画

学 期	学習内容とねらい	学習事項
前 期	4月 【歌唱(実技演習ⅠⅡ)】 ・コンコーネ ・日本歌曲 ・イタリア歌曲 ・ドイツ歌曲 (歌唱力の技術向上)	◆実技学習 表現力豊かな発声法の習得。 理論学習と絡めて、より正確な音程感覚の習得。
	8月 【歌唱・鑑賞(物語と音楽)】 ・シンデレラ ・ニュー・シネマ・パラダイス (歌唱に応用できる楽曲の背景や曲想の考察)	◆理論学習 中世から古典派の時代までの音楽史を学習。 ◆音楽鑑賞 自身の表現につながる教材を鑑賞。
	9月 【創作】 ・音楽の効果を生かしたオリジナル作品の創作 (音楽の形式についての知識の習得)	◆理論学習 音階などの特徴を生かした動機の作成をとおし、曲全体のイメージを持って、創造的な作品作り。
後 期	10月 【鑑賞・歌唱】 ・オペラの鑑賞、代表曲の歌唱 (和声感覚の向上、歌唱の技術向上)	◆実技学習 表現力豊かな発声法の習得。 理論学習と絡めての、より正確な和声感覚の習得。 ◆音楽鑑賞 歌とオーケストラの関係や舞台の効果を知る。
	2月 【歌唱(実技Ⅲ)】 ・選曲曲 (作曲家の楽曲の表現意図を感じ取り、自身の世界観の確立につなげる)	◆実技学習 表現力豊かな演奏法の習得。 楽曲の形式観や作曲者の表現意図を感じ取り、自身の音楽の世界観を拡げる。
	3月 【卒業演奏】 ・これまでの学習内容から、自身でプログラムを立案し、演奏会を開催。 (演奏発表)	◆実技学習 創意工夫をした音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け、個性豊かに表す。

### 4. 評価基準と方法

#### 【評価規準】

- 実技学習においても、鑑賞学習においても集中力と意欲をもって取り組むことができる。
- 自己の個性的な感受と積極性をもって表現ができる。
- 基礎的な知識や技術を表現に応用ができる。
- 集中力と高い芸術観をもって鑑賞に臨み、その演奏から作曲者・演奏者の思いを感じ取ることができる。

#### 【評価方法】

学習活動への積極的参加、実技および鑑賞の自己評価表、授業時間内での実技テスト、授業時間内での課題プリント

